

上尾中央総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問合せ先にご連絡下さい。

課題名	ロボット支援下鼠径ヘルニア修復術の安全性と妥当性に関する観察研究
受付番号	983
当院の研究責任者（所属）	若林剛（外科）
研究協力者（所属）	三澤健之（帝京大学）、谷田司（市立東大阪医療センター）、斎藤卓也（愛知医科大学病院）、藤井努（富山大学病院）、渡野邊郁雄（順天堂大学練馬病院）、小久保健太郎（木沢病院）、瀧口修司（名古屋市立大学）、大内昌和（順天堂大学浦安病院）、嶋田元（聖路加国際病院）、竹政伊知朗（札幌医科大学）、今村清隆（手稲溪仁会病院）、水谷文俊（名古屋掖済会病院）、高橋秀樹（帝京大学）、岡本信彦（上尾中央総合病院）、渡辺徹（富山大学病院）、早川俊輔（名古屋市立大学）、奥谷浩一（札幌医科大学）
研究期間	2021年12月25日～2022年11月30日
調査データ対象期間	2016年9月1日～2022年3月31日
本研究の目的	ロボット支援下鼠径ヘルニア修復術では、腹腔鏡下ヘルニア修復術と比較して、多関節機能や3D内視鏡の使用で、人間工学に沿った手術が可能であると考えられている。しかし、ロボット支援下鼠径ヘルニア修復術は、本邦ではいまだ自費診療で行われており、手術症例数も少なくエビデンスがほとんどない。今回、他施設共同によるロボット支援下ヘルニア修復術の後ろ向き研究により、手術の安全性、妥当性を検討することを目的とする。
対象となる患者さん	調査データ対象期間にロボット支援下ヘルニア修復術を実施した患者さん
利用する試料・情報	患者情報、手術情報、フォローアップ（漿液腫、再発、慢性疼痛といった合併症の評価など）並びに、採血を含めた各種検査など、得られた臨床データ及び検査結果等
試料・情報の他の研究機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
個人情報の保護に関する情報	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源（利益相反）	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
倫理審査等の経過	第241回上尾中央総合病院倫理委員会にて承認
公開日	2021年12月31日
オプトアウト期間	<input checked="" type="checkbox"/> 公開日から1か月 <input checked="" type="checkbox"/> 当該疾患の当院受診日から1か月
お問合せ先	電話番号 048-773-1111（代表） 上尾中央総合病院 クリニカルリサーチセンター 情報管理部・組織管理課 又は 薬剤部・治験管理科

